

平成29年勝浦町マラソン議会（9月会議）会議録第1日目

1 招集年月日 平成29年9月12日

1 招集場所 勝浦町議会議場

1 開閉日時及び宣告

開議 9月12日 午前9時30分 議長 節 公 一

散会 9月12日 午後4時17分 議長 節 公 一

1 出席及び欠席議員

○出席議員（10名）

1番	仙才守	2番	松下一一
3番	美馬友子	4番	麻植秀樹
5番	松田貴志	6番	節公一
7番	国清一治	8番	森本守
9番	井出美智子	10番	大西一司

○欠席議員（0名）

1 会議録署名議員

5番	松田貴志	10番	大西一司
----	------	-----	------

1 地方自治法第121条第1項により説明のために出席した者の職及び氏名

町長	中田丑五郎	副町長	藪下武史
教育長	椎野和幸	企画総務課長	山田徹
税務課長	久木喜仁	福祉課長	岡本重男
産業交流課長	海川好史	住民課長	中瀬弘晴
建設課長	柳澤裕之	教育委員会事務局長	笹山芳宏
勝浦病院事務局長	笠木義弘	会計管理者	後藤信之

1 職務のため出席した者の職氏名

事務局長 河野稔彦

1 議事日程（第1号）

開議宣言

日程第1 諸般の報告

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 議会運営委員会所管事務調査報告

日程第4 認定第1号 平成28年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定について

1 本日の会議に付した事件

日程第1から日程第4まで（第1号）

1 会議の経過

別紙のとおり

~~~~~

午前9時30分 開議

○議長（節 公一君） それでは、ただいまより平成29年勝浦町マラソン議会9月会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元へ配付のとおりでございます。

~~~~~

○議長（節 公一君） 日程第1、諸般の報告を議題とします。

会議等への出席状況を報告いたします。

7月12日、勝浦町及び上勝町で開催された徳島県町村議会女性議員連盟視察研修会に美馬副議長、井出議員が出席しました。

7月18日、勝浦町で開催された東部広域農道整備促進期成同盟会総会に東部広域農道整備促進特別委員4名が出席しました。

7月19日、勝浦町で開催された平成29年度勝浦郡人権教育推進協議会総会並びに研修会に美馬副議長と私が出席しました。

7月25日、徳島市で開催された町村議会議長会定例会並びに議長・事務局長研修に私が出席しました。

8月3日、勝浦町で開催された岡山県浅口市議会広報特別委員会視察研修に広報常任委員と私が出席しました。

同日、小松島市で開催された平成29年小松島市外三町村衛生組合議会第1回臨時会に衛生組合議員3名が出席しました。

8月4日、徳島市で開催された平成29年度徳島県市町村議会議員研修会に全議員が出席しました。

8月6日、勝浦町で開催された町民の声キャッチボールに全議員が出席しました。

8月9日、勝浦町で開催された勝浦町地域活性化センターオープニング式典に全議員が出席しました。

8月23日、徳島市で開催された平成29年度議会広報紙作成講座に広報委員が出席しました。

8月31日、徳島市で開催された平成29年度徳島県戦没者追悼式に私が出席しました。

次に、監査委員から平成28年度決算審査結果及び平成29年7月分の例月出納検査の

結果について報告書が提出されていますので、ご報告しておきます。

次に、法第121条第1項の規定により、説明者として出席を求めたのは中田町長、  
敷下副町長、椎野教育長、山田企画総務課長ほか関係課長でございます。

以上で諸般の報告を終わります。

~~~~~

○議長（筧 公一君） 日程第2，会議録署名議員の指名を議題とします。

会議録署名議員は、会議規則第128条の規定により、議長において指名いたします。

平成29年勝浦町マラソン議会9月会議における会議録署名議員は、5番松田議員、  
10番大西議員の両名を指名いたします。

~~~~~

○議長（筧 公一君） 日程第3，議会運営委員会所管事務調査報告を議題としま  
す。

議会運営委員会調査結果の報告を求めます。

松田議会運営委員長。

○議会運営委員長（松田貴志君） おはようございます。

9月4日に議会運営委員会を開きましたので、協議結果を報告いたします。

会議日程であります。本日から14日まで、第一読会において、認定第1号平成  
28年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定を審議します。14日は決算の認定審議後、議  
案第1号から議案第7号までを一括して第一読会で審議の予定といたします。27日は  
第二読会から第三読会を予定といたします。

なお、この9月会議における第一読会での全ての議案審議は、会議規則第52条にあ  
る、「議長が議員として質疑を行うとき」は、会議規則第53条にある自由討議と同様  
に議長席で行うことと決定いたしました。

以上、報告とします。

○議長（筧 公一君） ただいまの議会運営委員長の報告に質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（筧 公一君） 質疑なしと認めます。

それでは、議会運営委員会所管事務調査報告を終わります。

~~~~~

○議長（節 公一君） 日程第4，認定第1号，平成28年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

これより第一読会を開きます。

町長から開会の挨拶並びに認定第1号について趣旨説明をお願いします。

中田町長。

○町長（中田丑五郎君） 皆さんおはようございます。

平成29年勝浦町マラソン議会9月会議の開会に当たりまして，ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様方におかれましては，公私にわたり何かとお忙しい中をご出席をいただきまして，深く感謝を申し上げます。また，議員の皆様方には，日ごろから町行政の発展にご尽力をいただいておりますことに対しましても，厚く御礼を申し上げます。

7月30日には，地域医療を考える特別講演会を住民福祉センターにおきまして開催をいたしました。当日は勝浦病院の小西院長と木下ファミリークリニックの木下院長をお招きをし，町民の皆様方に勝浦町の地域医療と勝浦病院の現状や地域のあり方などにつきまして関心を持っていただきたいということで，勝浦町の地域医療についてのご講演をいただきました。今後とも勝浦病院改築に向け，地域医療と勝浦病院のあり方を町民の皆様方と一緒に考えていきたいと思っております。

8月9日には，まちづくりの中核施設でございます勝浦町地域活性化センターレヴィタかつらの完成式典を迎えることができました。式典では町の地域包括連携協定を締結し，同施設内にスーパーサテライトオフィスを開設する予定といたしております四国大学の松重学長や岡本県議会議員さんを初めとする勝浦町地域活性化協会の会員の方々など，約60名の皆様方のご参加をいただきまして，テープカットにて完成を祝いました。式典の締めくくりでは，坂本の女神楽の方々の太鼓演奏が行われ，オープニングに花を添えていただきました。今後とも町内外との交流を促進し，誇りと活力ある地域づくりのための拠点施設として幅広く活用していただくことを期待をいたしております。

8月19日には，勝浦町農村環境改善センターにおきまして人権を考える勝浦郡民のつどいが開催されまして，日本アカデミー賞最優秀アニメーション作品賞受賞の映画

「この世界の片隅に」が上映されました。この映画は、戦中の軍港呉を舞台に、主人公が戦時下の困難な中で持ち前の明るい性格で工夫を凝らし、豊かに生きる姿が描かれた作品でございます。当日には町内外から150名を超える方々のご来場をいただいたところでもございます。今後ともこうした学習啓発活動を通じて、全ての住民の皆様方の人権が尊重されるまちづくりに努めてまいりたいと考えております。

9月3日には、大雨による水害を想定した全町一斉防災訓練を実施をいたしました。同日はくしくも67年前の本町に甚大な被害をもたらせたジェーン台風が襲来した日でもあります。当日は1,800人を超える町民の皆様方のご参加をいただきまして、避難安否訓練や炊き出し訓練、消火器を使った消火訓練や救急救命士によるAEDを使った救命訓練など、各地区においてさまざまな訓練が実施をされました。町民の皆様方におかれましては、さらに防災意識を向上する機会としていただけるのではないかと考えておるところでもございます。

また、午後からは星谷運動公園におきまして勝浦町消防団全10分団によります500メートルに及ぶ消防ホース2,000延長による中継放水訓練が行われまして、万が一に備えた大規模な災害時に迅速な対応が確信されるような見事な中継放水でございました。今後とも集中豪雨や台風被害などさまざまな災害が発生をいたしてございまして、甚大な被害が出ておるところでもございます。町といたしましても引き続き地域の防災力を高めるため、自主防災組織の体制強化や住民の皆様方の生命、財産を守る救急救命体制を確保しながら、安全・安心なまちづくりに取り組みを努めてまいり所存でございます。

それでは、会議に上程をいたしてございます決算認定につきましてご説明を申し上げます。

認定第1号は、平成28年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定についてであります。

各会計の収支等の状況についてご説明を申し上げます。

まず、勝浦町一般会計では、歳入歳出差し引き額2億2,675万1,448円となりまして、このうち翌年に繰り越すべき財源4,799万円を差し引きまして、1億7,876万1,448円の黒字となっております。

次に、勝浦町国民健康保険特別会計では、歳入歳出差し引き額1億6,685万9,080円の黒字となっております。

勝浦町簡易水道事業特別会計では、歳入歳出差し引き額1億1,311万8,087円となりまして、このうち翌年度に繰り越すべき財源1億203万8,000円を差し引きまして、1,108万87円の黒字となっております。

次に、勝浦町住宅新築資金等貸付特別会計では、歳入歳出差し引き額33万1,721円の黒字となっております。

次に、勝浦町農業集落排水事業特別会計では、歳入歳出差し引き額318万3,755円となりまして、このうち翌年度に繰り越すべき財源243万9,000円を差し引きまして、74万4,755円の黒字となっております。

勝浦町介護保険特別会計では、歳入歳出差し引き額3,803万2,936円となりまして、このうち翌年度に繰り越すべき財源345万6,000円を差し引きまして、3,457万6,936円の黒字となっております。

次に、勝浦町後期高齢者医療特別会計では、歳入歳出差し引き額5万700円の黒字でございます。

勝浦町物産販売特別会計では、歳入歳出差し引き額758万1,044円の黒字でございます。

続きまして、勝浦町病院事業特別会計では、病院事業収益で6億3,441万6,455円、病院事業費用6億2,120万7,000円、差し引き1,290万9,455円となっております。

また、資本的収入では833万8,925円、資本的支出は1,069万9,962円であります。資本的収入額が資本的支出額に対しまして不足する額につきましては、損益勘定留保資金を補填をしております。

以上、決算の認定につきまして、監査委員の意見を添えて提出をいたしているところでございます。

なお、詳細につきましては、会計管理者と病院事務局長から説明をいたさせますので、ご審議をいただきまして、ご認定いただきますようお願いを申し上げまして、提案理由の説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

○議長（鄧 公一君） 町長の説明は終了いたしました。

次に、勝浦町歳入歳出決算の全体説明をお願いいたします。

後藤会計管理者。

○会計管理者（後藤信之君） おはようございます。会計管理者の後藤でございます。

す。よろしくお願ひします。

平成28年度勝浦町一般会計特別会計歳入歳出決算書について調製いたしましたので、申し上げます。

始めに目次をお開きください。1ページから52ページまでが勝浦町一般会計歳入歳出決算書。53ページから118ページまでが勝浦町国民健康保険特別会計から勝浦町物産販売特別会計の7つの特別会計の歳入歳出決算書となります。

各課での説明がありますので、各会計の収支総額を示した各会計実質収支に関する調書にて申し上げます。

121ページをお開きください。平成28年度各会計実質収支に関する調書の説明につきましては、会計ごとに読み上げます。

一般会計，1，歳入総額38億3,055万2,245円。2，歳出総額36億380万797円。3，歳入歳出差し引き額2億2,675万1,448円。4の2，翌年度に繰り越すべき財源の内の繰越明許費，繰越額4,799万円。5，実質収支額1億7,876万1,448円。6，実質収支の内，地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額3,511万3,000円です。

以降は、会計名，区分番号，金額を読み上げます。

国民健康保険特別会計，1は9億1,618万5,415円。2は7億4,932万6,335円。3，1億6,685万9,080円。5，1億6,685万9,080円。

簡易水道事業特別会計，1，4億5,024万1,598円。2，3億3,712万3,511円。3，1億1,311万8,087円。4，1,238万円……。済んません。1億203万8,000円。5，1,108万87円。

住宅新築資金等貸付特別会計，1，58万7,698円。2，25万5,977円。3，33万1,721円。5，33万1,721円。

農業集落排水事業特別会計，1，3,488万552円。2，3,169万6,797円。3，318万3,755円。4，243万9,000円。5，74万4,755円。

介護保険特別会計，1，8億8,450万3,632円。2，8億4,647万696円。3，3,803万2,936円。4，345万6,000円。5，3,457万6,936円。6，1,376万9,000円。

後期高齢者医療特別会計，1，8,536万4,550円。2，8,531万3,850円。3，5万700円。5，5万700円。

物産販売特別会計，1,732万921円。2，973万9,877円。3，758万1,044円。5，



758万1,044円でございます。

122ページをお開きください。財産に関する調書、土地及び建物について。

土地はその他の行政機関の警察施設の区分で、第6分団の消防詰め所、129平方メートルの増加。公共用財産その他の施設の区分で、勝浦町地域活性化センター、712平方メートルの増加。その他の区分で横瀬の宅地造成用地、484平方メートルの増加で、合計は14万5,953平方メートルです。また建物はその他の行政機関の警察施設の非木造の区分で第6分団の消防詰め所、20平方メートルの増加。公共用財産その他の施設の木造の区分で、子育て支援センターの198平方メートルの増加。同じく非木造の区分で、以前の子育て支援センターの取り壊しと勝浦町地域活性化センターによる26平方メートルの減少です。建物合計は、3万3,359平方メートルです。

123ページの出資による権利、それから次のページの124ページの有価証券、無体財産権は決算年度中の増減はありませんでした。2番、物品の決算年度中の増減は、乗用車1台、消防車1台増加し、決算年度末現在高、計44台でございます。基金については、年度中の増減高は一覧表のとおりです。14の基金の決裁時、年度末現在高の計の合計は34億1,220万5,140円でございます。

以上で平成28年度各会計歳入歳出決算書の説明を終わらせていただきます。

○議長（筈 公一君） 続いて、勝浦町病院事業特別会計の全体説明をお願いします。

笠木勝浦病院事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） 病院事業特別会計決算書について説明をさせていただきます。

まず1ページ、2ページには決算報告書を掲載しております。

3ページをお開きください。3ページには損益計算書を掲載しております。

次に4ページ、5ページは貸借対照表となっております。平成28年度末で資産合計16億1,197万8,509円となっております。期首合計から215万7,013円の減となっております。負債合計は6億4,176万6,219円となっております。期首合計からは1,682万3,823円の減となっております。資本合計が9億7,021万2,290円となっております。期首合計からは1,466万8,810円の増となっております。

次に6ページ、7ページについては、キャッシュフローの計算書となっております。

す。

その次、8ページ以降につきましては、詳細及び参考資料を添付してございます。  
以上でございます。

○議長（笹 公一君） 以上で歳入歳出決算の全体説明は終わりました。

次に、各課長から詳細説明を求めますが、議事の都合により、休憩とします。

午前9時58分 休憩

午前10時02分 再開

○議長（笹 公一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

初めに、福祉課関連の詳細説明をお願いしますが、一般会計に続いて介護保険特別会計まで続いて説明を受けたいと思います。

岡本福祉課長。

○福祉課長（岡本重男君） それでは、主に一般会計歳入歳出決算主要事項説明資料書の資料のほうで説明をさせていただきます。関連する数字を一般会計歳入歳出決算主要事項説明書のほうのページ数、金額等で説明したいと思います。

それでは、まず資料のほうの1ページをあけていただきたいと思います。

2, 2, 1 企画費、決算額が7,707万3,558円、財源のほうの内訳が国庫支出金651万円、地方債5,600万円、その他1,190万円、一般財源266万3,558円となっております。主な事業でございますが、子育て交流支援センター改築工事業費が6,939万258円、それに関連します消耗品、通信運搬費、手数料、設計監理委託料、これが金額がこのうち大きいので207万3,600円、下のほう工事請負費が6,693万8,400円、あと備品も購入してございます。

それで、こちらの財源のほうの説明が先ほどの申しました説明書の3ページのほうに651万円。13, 2, 1, 2の5で651万円の上から10行目のところがございますが、次世代育成支援対策施設整備交付金をいただいております。

それから、地方債のほうが8ページの上から2行目の過疎対策事業債（ハード事業）ということで5,600万円を充当しております。

その他としまして、自ら考え自ら実践する地域づくり基金の繰り入れをしております。これが6ページの下から2行目の1,190万円と表示されております額のうちの650万円が子育て、また後で出てきますが、540万円が就学前子育て支援事業のほうに

充当されております。

それで、さらに説明資料の54、55ページのほうに平面図のほうの簡単な配置図を載せさせていただいております。木造平家建て、建築面積が222平米、延べ床が198平米、広場が250平米あるというような数字になってます。

それから、支援センターの利用のご案内というチラシのほうをコピーしてつけてございます。

続きまして、町出産祝い金制度交付金でございます。こちらのほうが149万円。詳細は、49ページのほうに、こちらのほうに第1子のお子さんが13人、第2子のお子さんが12人、第3子以降が5人、計30人で、総額149万円となっております。なお、第1子の場合は3万円、第2子の場合は5万円、第3子以降は10万円という祝い金となっております。

続きまして、町就学前子育て応援交付金、これは町内居住の5歳児保育児童を対象としまして上半期と下半期に分かれまして、2回にわたって交付しておるもので、549万3,300円で、先ほど申しました自ら考え自ら実践する地域づくりを540万円財源としまして、残り一般財源としまして9万3,300円となっております。事業の内容を右側に書いてございますが、上半期が4月から9月、対象のお子さんが22人、下半期が10月から3月で23人の対象のお子さんのおいでまして、交付しております。

それから続きまして、福祉移送事業補助金70万円、これは全て一般財源でございます。地域での自立した生活、社会参加のための外出の際の移動を支援し、福祉の増進を図るということで、資料は50ページと51ページにつけてございますが、社協のほうで運営しておりますので、補助金を出しておりますので、これが70万円、上のほう収入の部になっておりまして、支出の部がその補助金で運営しておりますので人件費が一番高くかかっておりますが、20万250円、そのほか金額の大きいものは消耗品費、それから保険料が高くなっておりまして、合計70万円となっております。それから、51ページのほうに内容の報告がございまして、利用回数は65回、火曜と木曜に運行しております。それから、利用時間の延べ時間が134.5時間、延べ利用人数は180人、合計実人数で57人となっております。主に女性がやはり利用が多いということで、男性4人、女性53人となっております。以下、下のほうに毎月の利用の状況を記載させていただきます。

続きまして、2ページでございます。

2ページが、3, 1, 1 社会福祉費2,454万1,777円、国庫支出金498万円、県支出金187万7,320円、その他75万円、一般財源1,693万4,457円となっております。こちらのほうは社会福祉費としまして1,834万5,394円で、主な費用としましては負担金補助金の欄にあります民生児童委員の負担金補助金、それから右側の欄のほうに一覧をつけておるんですが、負担金補助金というので右側のほうの事業の内容の説明のところに町遺族会、町父子会、町母子福祉会、それから県社会福祉協議会負担金、県更生保護協会……。

いいですか。

そうすると、そういう団体の中で主に大きいのは町社会福祉協議会補助金が1,378万256円で計1,411万7,074円をこの負担金補助金の19の1で支払いします。それから、民生児童委員のほうで負担金と補助金合わせまして304万7,320円を支出しております。あと、母子年金、それから小口資金の貸付金等ございます。それから貸付金のほうの償還のお金、それから元金ということで、詳細につきまして、済いません、説明書のほうが4ページのほうに一応県の負担金ということで、187万7,322円が4ページのほうに財源として県支出金で上がってきております。これが上から4行目の民生・児童委員活動費県補助金になっております。それから、あと7ページのほうで償還金の50万円の財源が上がってきております。

いいですか。ほな、そちらは見ていただくということで。

入のほうはじゃあ見ていただくということでお願いいたします。

それから、臨時福祉給付金でございますが、これが498万円の臨時福祉給付金となっております。詳細のほうは12ページのほうについてございます。12ページに臨時福祉給付金、簡素な給付措置ということで、低所得者向けの給付金が3,000円、障害遺族年金受給者向け給付金が3万円の金額となっております。支給決定者数は1,191人で、低所得者向けの方の対象となっております。決定額は357万3,000円。支給対象者の人数は1,310人おいでまして、90.9%の給付率でございました。補助金の受け入れ済額は360万円、補助金過不足額は2万7,000円となっております。それから、事務費としまして260万5,383円と補助金受入済額138万円となっております。こちらが補助金過不足額がマイナスの122万5,383円。補助金の過不足につきましては、平成29年

度に繰り越し、臨時福祉給付金経済対策分と調整をする事務となっております。

それで、続きまして3ページでございますが、3, 1, 2 障害福祉費、決算額1億3,914万6,604円、国庫支出金5,459万円、県支出金3,390万4,932円、その他120万7,362円、一般財源が4,944万4,310円となっております。障害福祉費でございますが、詳細の説明が19ページのほうに載っておりますが、こちらのよう形で主に障害福祉のほうのシステムサポート委託料と身体障害者福祉年金204名の102万円が大きな金額となっております。それから、下のほうで重度心身障害者の場合は重度医療費が、その上の重度医療のシステムバージョンアップのシステムの委託料が302万4,000円、重度医療費が1,592万1,185円となっております。右側のほうの備考欄に受給者は184名の方が対象ということで記載させていただいております。それから、あとは下のほうでまた障害認定審査会のほうは臨時職員の方を1名雇用しておりますので、その方の賃金が136万4,246円で、あとは委員報酬が31万2,000円という形で金額の大きいものになってます。この審査会は上勝と佐那河内と共同で設置しております。人口割で算出して各町村で経費を負担していると。幹事は勝浦町となっております。事業内容につきましては、ここに書いてありますとおりでございます。審査件数は勝浦町のみでございますが、12件を審査しております。あと、認定の調査等はシーズという業者へ委託をしております。13件委託をしております。

続きまして、あと、このページは一応それで。

財源につきましては、この説明書のページ2と款項目の番号と金額とありますので、また説明書のほうを見ていただけたらこちらのほうに載っております。

続きまして、4ページでございます。

4ページが3, 1, 2……。済いません、これ地域生活で先ほどの続きですね。間違っておりました。

済いません、ちょっと4ページのほうで、さらに説明書の20ページのほうに先ほどの続きの地域生活支援のほうに載っております。決算額930万1,779円で、主なものは地域活動支援センター機能強化事業、社協150万円、それから移動支援事業（車両型）で委託で150万1,019円、地域活動支援センター運営補助金が350万円、地域生活支援事業費（日常生活用具ほか）が211万710円となっております。

事業内容でございますが、地域支援事業は障害福祉サービスの一つとしまして行っ

ております。相談支援事業につきましてはシーズという業者へ委託しまして、ピアカン事業等は県連合会のほうへ委託しまして、地域活動支援センター、これはサルビア作業所でございますが、社協、それから運営補助金と機能強化事業を委託しております。それぞれ各事業所と契約を結んで行っております。あと、それぞれ備考欄のほうに利用人数と件数につきましては記載させていただいております。

続きまして、障害福祉サービスのほうの主なものとは障害者自立支援給付事業ということで9,287万3,010円、前年度国庫補助金等返還金で303万1,898円。事業内容としましては障害福祉サービスの2本柱の一つとしまして自立支援給付を行っております。そのうち介護給付、訓練給付、相談支援給付、補装具に係る経費がこの事業の経費となっております。それから、障害児通所支援事業ということで、主なものは障害児通所支援事業の355万2,395円になっておりまして、児童福祉法による障害児支援のうち、通所サービスに係る経費をこの事業で賄っております。それから、障害者医療費588万5,283円の決算でございますが、大きな金額としましては更生医療費400万3,009円、療養介護医療費が169万5,232円。こちらも障害福祉サービスの2本柱の一つで自立支援給付としまして、そのうち自立支援医療に係る経費でございます。療養介護医療費、自立支援医療費は含まれてございません。更生医療、育成医療は腎臓機能障害、透析等、それから心臓機能障害等などの方を対象に必要な医療を支給してございます。医療と介護が必要な方についてサービスのうち、医療部分をこちらで支給しているということになってございます。

続きまして、5ページのほうは3,1,3老人福祉費1億5,351万5,983円、国庫支出金79万1,700円、県支出金295万4,850円、その他707万9,920円、一般財源が1億4,268万9,513円となっております。こちらのほうが介護保険事業のほうで1億1,627万1,774円で、主に大きな金額は介護特別会計へ繰り出しております1億1,619万6,252円となっております。右のほうにその繰出金の内訳がございまして、介護保険特別会計繰出金が1億1,461万2,852円、介護保険基盤安定繰出金が158万3,400円となっております。在宅支援事業でございますが、こちらが在宅支援委託料が主な大きな金額になっておりまして、1,264万8,046円となっております。介護手当住宅助成も46万6,000円を支出しております。詳細が24ページのほうに高齢者住宅改造事業補助金で一覧表、1人の方が一応対象で、この金額が右側に備考（対象者）と

ということで1人の方が対象となっております。それから、シルバー人材センター運営事業費としまして380万円、老人クラブ活動費補助金が102万9,020円で、資料の23ページのほうに老人福祉の関係でしております。敬老理念普及事業が95歳、99歳、100歳、喜寿、米寿ということでそれぞれ記念品をお贈りさせていただいておりますので、その分の経費がなってます。それから、大きいものは在宅支援事業、心配事相談所運営事業委託料32万円。利用者は延べ人数で20人。それから、下から3番目の102万9,020円の老人クラブ事業、これは単位クラブそれぞれへの助成金、14クラブと連合会への補助金42万8,000円となっております。会員数は586人となっております。それから、124万3,000円が敬老活動補助金としまして、敬老会の経費に補助をしております。これが75歳以上の人数で1,250人に1,000円を掛けまして交付を補助金を出させていただいております。さらに、24ページのほうにシルバー人材センター運営事業380万円の補助金、会員数が116人となっております。あとは下のほうの老人法措置事業というのが798万815円で、これは養護老人ホームのほうへ入所をした方の措置費を計上しております、4人の方が1年間で、1名の方は6月から年度末までという形で費用のほうを措置しております。それから、あとタクシー券のほうの高齢者移動支援事業ということで、タクシー券助成制度のほうで194万1,160円。詳細につきましてはここですが、金額だけですが、これは月に4枚、500円のチケットをお渡ししまして、利用していただいている制度でございます。それから、要援護者支援システム整備のシステム委託料としまして21万3,840円が支出しております。

続きまして、6ページでございます。

3, 1, 6 隣保館費424万4,525円、県支出金が296万1,000円、一般財源が128万3,525円。主な費用としましては、館長報酬139万2,000円、それから管理人賃金85万2,000円、講師謝金、これは交流講座をしております、その方の講師、それから勝浦会館運営の運営委員会をしております、その委員費もこの金額の中に含んでおります。あと光熱水費が60万1,480円……。

いいですか。

詳細につきましては、25、26ページのほうに隣保館運営の状況で、本年度の利用者数は1,362人で行いました。それから、26ページのほうにどういう事業をしているかということで概要略で町社会調査でありますとか生活相談でありますとか老人会、

婦人会の開催状況、それから会館だよりを月1回で12回発行であるとか、先ほどの地域交流事業が年間134回の開催等を書いてございます。

続きまして、3, 1, 7 住民福祉センター費500万8, 454円、その他が60万1, 850円、一般財源のほうは440万6, 604円。主なものが光熱水費が172万8, 454円、指定管理委託料が328万円となっております。こちらのほうが27ページのほうに詳細説明が載っております。住民福祉センター指定管理者維持管理委託料、実績ということで社会福祉協議会に委託しておりますので、そちらから出てきた実績の写しとなっております。この中の実績でも主には人件費が220万6, 250円となっております。

続きまして、7ページ、3, 2, 1 児童福祉総務費 2億4, 392万5, 435円、国庫支出金が1億1, 280万277円、県支出金4, 556万6, 975円、その他が2, 283万5, 890円、一般財源が6, 272万2, 293円となっております。こちらのほうが保育園の運営費で、一番大きいのが負担金補助金交付金で1億5, 979万3, 170円、それから委託費のほうも128万5, 934円となっております。詳細につきましては、28ページのほうに、今現在の保育所の入所者、児童数の一覧が、済いません、今現在の28年度の3月31日時点での人数を書いてございます。定員がそれぞれ82と52のところは89人と56人の入所児童数となっております。年齢ごとの内訳は右のほうに数字を上げさせていただいております。現年度の保育料の徴収状況が調定額が2, 224万4, 490円で、収入額2, 223万2, 490円、収入未済額は1万2, 000円の収入となっております。済いません、ちょっと戻りまして、先ほどの現年度の滞納者数は1名の方となっております。それから、過年度の保育料でございますが、83万5, 900円、収入額が22万8, 400円、未収入額が60万7, 500円で、滞納者数は8名となっております。

保育所運営費でございます。執行済額が1億5, 619万8, 810円になっておりまして、こすもすとみかんの月ごとの支払った金額の一覧がこちらに載っております。それから、30ページのほうに阿波っ子はぐくみ保育料助成事業費補助金ということで、保育料が18歳未満の児童が3人以上いる同一世帯で第3子以降の保育料を無料とすると。無料となった額の2分の1を県が補助金として交付する事業で、今現在13の方が対象となりまして、児童数。それから、無料化になった保育料は293万9, 700円。所得制限等で補助対象外となった児童の方は3人で、127万8, 000円となっております。こちら146万9, 000円で収入としては入っております。



それで続きまして、保育等促進事業が1,493万1,908円で、主なものとしましては地域子育て支援拠点事業ということで、済いません、さっき34ページのほうに地域子育て支援拠点事業ということで説明のほうが載っております。これは子育てサロンこあら組としまして勝浦みかん保育園のほうで実施しております、週6日、月曜から土曜まで、時間が9時半から11時半と13時から16時の5時間で、担当している職員が2人で行っております。具体的な事業の内容につきましては下のほうに書いてございまして、子育てサロンこあら組が毎週水曜日あるのと、あといろんな行事を、七夕の集い等、ずっとしております。それから、子育て相談もしております。月曜から土曜まで。それから、講習をいろいろ、看護師による予防接種の講座とかそういうことを行っております。

続きまして、7ページのほうには、済いません、ちょっと説明が後になったんですが、保育関係の内訳のほう、保育園の委託費の内訳等書いてございます。それから、児童手当でございますが、6,757万4,263円が児童手当でございます。詳細につきましては32ページの平成28年度児童手当ということで、こちらのほうにありましたようにゼロ歳から3歳は1万5,000円、3歳から中学校修了までは1万円と1万5,000円に分かれまして、基礎となる児童の延べ数は計の欄で4,502人となっております。それから、特例給付というのが5,000円ありまして、52人対象となっております。以上、合計で5,922人で、支出額が6,709万円、国のほうから4,653万4,998円、県から1,027万7,498円、町の負担が1,027万7,504円となっております。児童手当のシステムを改変する必要があったので、45万3,600円の支出をしております。それから、児童手当のシステムの委託料で45万3,600円を支出、そのほかにしております。子育て世帯臨時特例給付事業が、支出ですけれども、これが返還しまして実際は事業は実施していないということになっております。

それから、8ページでございます。

8ページのほうの子育て交流センター事業費ということで、詳細が36ページ。子育て交流支援センター管理事業実績ということで、こちらでも社会福祉協議会を指定管理者として管理を委託しておりますので、こちらのほうで大きな金額は人件費が63万5,733円であります。あと、警備委託、それから光熱水費、通信費、消耗品費等になってございます。

濟いません，もう一度子育てのほうに戻りまして，講座講師謝礼が131万8,000円。これは右側のほうに書いてありますが，英会話教室というのを交流事業としまして毎週土曜日に英会話の講師先生が来て講座を開いております講師料になっております。それから，はぐくみクラブのほうへ運営費として40万円を負担金としまして支出しております。あと，下のほうの婚活で75万円の事業をしております。これは3回，K-F r i e n d sのほうへ委託しまして行っております，内容説明のありますとおりにホテルまつりのときに6組，6組というのはカップルが成立した，参加者の中で気に入った相手が両方マッチングが合いましておつき合いをスタートするということになったカップルはホテルまつりで6組，思い出教室ということで9月に6組，それから10月にホテルディナーということで6組，以上18組の方がそのときのおつき合いのスタートするという組数が成立しております。それから，放課後児童健全育成事業でございますが，こちらが35ページのほうに書いてございまして，こちらは一般的には学童クラブという言い方が多いんですけども，たけのこクラブとちゃいんどクラブと，たけのこが横瀬小学校の余裕教室，ちゃいんどクラブが生比奈小学校の余裕教室で行っております。それぞれここに記載のありますように，ふだんは12時から18時半までですが，長期休暇，夏休み等の場合には7時半から18時半まで行っております。児童数につきましては，たけのこが29人，ちゃいんどが20人となっております。支出額はたけのこが463万8,500円，ちゃいんどが437万9,000円を支出しております。それで，続きまして，あとファミリー・サポート・センターという子供さんを面倒見てほしいというときに個人の会員さんが登録して，それぞれ預けたい家と預かる家とが登録して支援，面倒見る制度がございます。そちらの委託料等，委託事業等をしております。あと，病児・病後児広域の事業に対しても負担金で43万1,000円，これは徳島市役所が事務局となっております。これは，濟いません，歯科衛生士のほうのこちらは説明になっております。それから，子ども・子育て会議の委員の報酬等があと計上させてもらってます。3万4,000円……。

濟いません。子どもはぐくみ医療費でございます。3，2，3子どもはぐくみ医療費1,807万4,536円で，県支出金が594万1,000円，一般財源が1,213万3,536円になっております。大きな金額は，はぐくみ医療費給付費でございまして，37，38と資料のほうに載っております。ここにありますように，国保と社保に分かれましてお支払い

をさせてもらっております。それから、年齢別につきましても、それぞれ書いてありますが、計で656人。制度の状況のほうはここに記載してありますとおりで、勝浦町はワンレセプト600円、自己負担が7歳まではなくて、7歳から18歳がワンレセプト600円という形で整理をさせていただいております。あと、入院につきましても同じようになっております。続きまして、未熟児医療のほうが38ページのほうに書かせてもらっておりますが、こちらは実績なかったです。ちょっとあれです。

続きまして、3, 3, 1の生活保護費のほうは金額が小さいので、ちょっと詳細はもう見ていただくということで、右のほうに単価等、世帯等も書いてございます。

続きまして、10ページが4, 1, 1保健衛生費1,594万2,268円、こちらは事業の内容を右に書いておりますように補助金は27年度廃止されておりますので、交付税で措置されております。詳細につきましては、39ページから始まっております。39ページのほうは予防接種事業で、予防接種の委託料が一番大きいんですが、1,196万1,839円。それから、下のほうに予防接種の内訳が書かれております。主に子供さんが多いんですけども、一番下の肺炎球菌とインフルエンザが高齢者の予防接種となっております。それから、救急医療対策事業ということで、南部輪番制の病院の機関になっておりまして、南部一の圏域にあるんで、そちらのほうの医療機関のほうへ支出をさせていただいております。それがそれぞれ3病院、合計額は300万2,000円、それから小松島医師会のほうへも67万8,000円を支出させていただいております。続きまして、自殺予防事業も同じように41ページのほうに県の協会のほうへ負担金を払っております。

続きまして、11ページの4, 1, 2健康増進事業976万5,241円、国庫支出金が6万3,000円、県支出金52万8,400円、その他が85万7,000円、一般財源が831万6,841円になっております。こちらのほうも詳細のほうは42ページから46ページで、こちらもちょうと非常に詳しく書いとんですが、時間がございませんので、済いません、健診等、がん検診等も入ってございますが、受診者数も記載しておりますので、あと詳しくは見ていただけたらと思います。

あと、右側のほうの43ページのほうへ健康増進事業のほうからずっと、さらに44ページが新たなステージに入ったがん検診の総合支援を、それから45ページが巡回がん検診、婦人がん検診の状況、46も健診事業等の健康のほうの審査等、栄養指導のほう

が47ページ、保健指導等になっております。それから、一応愛育班の補助金につきましてもこちらのほうに、15地区分で55万8,000円等を書いてございます。

あと、ずっと48ページまで書かさせていただいております。それで、濟いませぬ、母子衛生費のほうもあわせて今一緒に言ってしまったんですが、母子衛生費のほうも524万2,137円の決算額になっておりまして、大きなものは医師会の健診委託料と先ほど言いました愛育班のほうの補助金。不妊治療のほうは10万円でお一人の方だけの対象となっております。

続きまして、そんで、濟いませぬ、こちらのほうは一般会計の通常予算の分はこちらで、以上説明になります。

続きまして、繰越明許の資料のほうをあけていただきまして、繰越事業としまして3, 1, 1 社会福祉費のほうを実施しております。2,880万4,807円、国庫支出金が4,234万円で、一般財源がこれちょっと計算上、1,353万5,193円になっとなんですが、これは右側の注意書きにありますように国補助金繰越予算のため3月補正予算に計上して繰り越しをしたということでの数字となっております。それで、主なものとしましては、臨時福祉給付金が2,658万円で、詳細につきましては裏側のほうに高齢者向け給付金、単価1人当たり3万円と障害者遺族年金受給者向け、こちらも3万円で、それぞれ850人と34人でおいでまして、その前に支給対象者数が887人、96.1%の給付率。36人と94.4%の給付率で、受け入れが3,900万円受け入れとったのですが、返還が1,242万円、実績でしております。あと、事務費としまして222万4,807円を実施しましたが、受け入れていたのが334万円で、こちらも111万5,193円を返還しております。一応返還額につきましては、29年度に補正予算を計上して返還する予定となっております。事務費については、27年度受入済の補助金と調整しておりますので、実際の返還額は126万8,000円で調整をして返すこととなっております。それで、そちらのほうの数字のほうの説明書のほうにそれぞれ1ページのほうに、歳入と歳出の1ページに金額を書かせております。入っております。

それから、保育園の3, 2, 1 児童福祉総務費のほうが61万5,600円で30万7,000円、国庫支出金。これも繰越予算で計上して繰り越しております。これは保育園の運営費のシステム改修委託料ということで、多子世帯利用負担減とひとり親世帯優遇措置による保育料改定による電算システム改修が必要となり、繰り越しをいたし

ておりました。

繰り越しにつきましては、以上でございます。

続きましては、介護予算の資料を見て……。

○議長（笹 公一君） もう、介護大きいとこだけ行ってよ。

○福祉課長（岡本重男君） 大きいのですか。済いません。

介護のほうが、大きいとなると、もう一般管理費のほうはほなよろしいでしょうか。

介護認定審査会は3町村で設置してしてありまして、510万6,083円を審査会費として使っております。

それから……。

○議長（笹 公一君） 資料のほうからで。

○福祉課長（岡本重男君） 資料が後ろのほうで、そうです、資料のほうです、済いません。資料のほうの2ページになります。

それで、あと認定関係はさらに後ろのほうに詳しい資料は8から11ページまでずっと必要な経費であるとか構成数等書かさせていただいております。

それから、介護認定調査費のほうも404万5,426円の事業費でございます。こちらのほうも後ろのほうに調査費のほうがついております。

それから、地域密着型につきましては、協議がないため独自開催をしております。

それから、ずっと行きます、金額大きいのが4ページの介護サービス等諸費でございます。介護サービス給付が7億1,018万6,974円で、こちらのほうがずっと18ページのほうに介護保険事業状況報告で居宅、地域密着と、こちらのほうに事業の人数とずっとサービスのほうがずっと後ろのほう、21ページまで書いてございます。人数と金額が。

それで、右側のほうの4ページのほうの事業の内容のほうで説明がちょっとこちらのほうが表としては簡潔になっておりますので、説明しますと、居宅介護のほうも2億7,026万3,169円、施設介護のほうも2億3,730万2,960円で主になっております。

それから、居宅介護の計画給付というのが3,779万3,590円になっております。介護予防が2,951万2,782円、予防計画給付が428万1,700円、地域密着型介護給付が1億

2,764万2,311円となっております。

あと大きいのが、介護高額介護給付がサービス費としまして2,071万3,968円となっております。こちら事業の内容欄のほうに給付費が1,692万2,210円で主なものとなっております。それから、特定入所介護サービスでございますが、こちらが6,107万7,850円の事業費となっております、それぞれ内訳のほうは右のほうで6,072万4,810円が一番大きな事業としましてしております。

それから、介護予防事業費のほうは900万3,010円で、地域支援事業費として実施しております。こちらのほうも右側の説明のところでございますと、第1次予防事業費が744万4,500円、第2次予防事業費が130万8,700円となっております。

続きまして、包括支援の事業になってます。4,2,1,2,034万6,875円となっております。こちらのほうも事業の内容のほうの右で包括・継続ケア事業のほうは1,264万円、任意事業の弁当配食が765万6,930円となっております。

あと、償還金で介護の国庫支出金等償還ということで、27年度の決算を見まして、もらい過ぎていた分を28年度に返すということで、その金額が1,118万5,658円となっております。財源につきましては、繰越金を使用しております。

濟いません。ちょっと非常に最後飛ばしたような形になったんですが、以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（笹 公一君） 以上で福祉課関連の詳細説明は終了いたしました。

議事の都合により、休憩とします。

午前11時00分 休憩

午後1時30分 再開

○議長（笹 公一君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

住民課関連の詳細説明をお願いします。

中瀬住民課長。

○住民課長（中瀬弘晴君） 平成28年度歳入歳出決算主要事項説明、住民課分についてご説明申し上げます。

まず、一般会計からご説明を申し上げます。

説明資料に従って説明いたしたいと思っておりますので、資料のほうをお手元にご用意ください。

1枚めくりまして、1ページ目でございます。

2款総務費、1総務管理費、3交通安全推進費でございます。決算額59万2,074円、一般財源59万2,074円でございます。こちらのほうは勝浦町交通安全対策会議また推進会議、こちらのほうを開催させていただいております費用でございます。交通指導員報酬また交通安全対策会議委員報酬、推進会議委員報酬、キャンペーンの消耗品等でございます。補助金といたしまして、勝浦町交通安全協会横瀬分会、生比奈分会へそれぞれ5万円の補助をいたしております。また、勝浦町交通安全母の会補助金といたしまして生小、横小、各小学校に1万円ずつの補助金を支出しております。また、負担金といたしまして、小松島地域交通安全活動推進協議会負担金10万8,000円を支出いたしております。

続きまして、2ページをお開きください。

2款総務費、1総務管理費、8広報費でございます。決算額310万750円、特定財源といたしましてバナー広告料12万円がございます。差し引き一般財源といたしまして298万750円でございます。こちらのほうは広報印刷委託料といたしまして鳥海印刷に109万1,880円支出いたしております。また、配布委託料といたしまして88万9,920円の支出がございます。

続きまして、3ページのほうをお開きください。

2款総務費、4項戸籍住民基本台帳費、1目戸籍住民基本台帳費でございます。こちらのほう決算額626万4,884円でございます。国庫支出金といたしまして中・長期在留居住者届け出等事務委託金13万8,000円、また県支出金といたしまして人口動態調査費委託金1万7,000円、その他の収入として戸籍住民基本台帳手数料等の収入241万9,100円の収入がございます。差し引き一般財源といたしまして369万784円でございます。人口動態調査等につきましては、続きの4ページに詳細を記入させていただいております。また、証明書等交付状況については、5ページ、6ページ目に詳細を記載させていただいております。こちらのほう支出といたしまして、戸籍電算機器保守委託料155万5,200円、戸籍電算システム使用料194万4,000円、M I C J E T住基パッケージ使用料124万4,160円が主な支出でございます。

続きまして、7ページのほうをお開きください。

2款総務費、4項戸籍住民基本台帳費、2目住民基本台帳ネットワークシステム費

でございます。決算額434万6,479円、特定財源といたしまして国庫支出金83万9,000円の歳入がございますので、一般財源といたしまして350万7,479円の支出でございます。主な支出といたしましては、住民基本台帳ネットワークシステム業務委託、住基ネットシステムサポート委託料といたしまして128万5,740円、住基ネット用機器保守委託料44万8,545円と合わせまして173万4,285円でございます。委託先といたしましては、扶桑電通徳島営業所でございます。また、住基ネットワークシステム関連機器リース料といたしまして168万9,660円でございます。委託先といたしましては、富士通リース四国支店でございます。

続きまして、8ページをお開きください。

2款総務費、5項選挙費、1目選挙管理委員会費でございます。決算額といたしまして104万307円でございます。いずれも一般財源から支出をいたしております。こちらのほう選挙管理委員会の開催を5回開催させていただいております。主な支出といたしましては、選挙管理委員さんの報酬等でございます。

続きまして、2款総務費、5項選挙費、2目選挙啓発費でございます。こちらのほう3,405円の支出でございます。いずれも一般財源でございます。県明るい選挙推進協議会等の負担金の支出でございます。

続きまして、2款総務費、5項選挙費、4目参議院議員選挙費でございます。こちらのほう支出のほう決算額が567万2,765円でございます。財源といたしまして、参議院議員選挙委託金といたしまして506万4,226円の歳入がございます。一般財源といたしまして60万8,539円でございます。こちらのほう昨年度第24回参議院議員通常選挙を7月10日投開票でいたしております。そちらの経費でございます。

続きまして、9ページをお開きください。

2款総務費、6項統計調査費、1目統計調査費でございます。決算額といたしまして68万5,788円でございます。こちらのほう特定財源といたしまして県支出金、学校基本調査委託金6,000円、経済センサス委託金25万6,964円、人口移動調査委託金5,000円、工業統計調査委託金3,000円、合計27万964円の特定財源の歳入がございます。差し引き一般財源41万4,824円でございます。こちらのほうは統計調査員の報酬等が主なものでございます。

続きまして、10ページのほうをお開きください。



3 款民生費， 1 項社会福祉費， 4 目国民年金費でございます。こちらのほう決算額が56万4,580円でございます。国庫支出金の歳入といたしまして国民年金事務委託金162万6,882円の歳入のうち，56万4,580円を国民年金事業に財源充当いたしております。残りの106万2,302円は総務管理費のほうに財源充当をいたしております。一般財源のほうはございません。11ページのほうに国民年金関係の被保険者数，国民年金免除者数，また年金受給者数及び年金額等の資料を添付させていただいております。

続きまして， 3 款民生費， 1 項社会福祉費， 9 目住民生活行政費でございます。こちらのほう事業といたしまして男女共同参画行政また消費者行政の2つがございます。男女共同参画行政といたしまして決算額が7万8,733円でございます。こちらのほう男女共同参画講演会を29年2月25日に開催をさせていただいております。そちらの経費となっております。また，消費者行政のほうでございますが，1万8,393円の決算額でございます。こちらのほう県支出金といたしまして委託金のほうが2万8,600円の歳入がございます。1万8,393円を消費者行政に財源充当させていただいております。国民生活センター研修参加資料代等が主な支出でございます。

続きまして，12ページのほうをお開きください。

3 款民生費， 4 項災害救助費， 1 目災害救助費でございます。決算額のほうが20万4,991円でございます。いずれも一般財源でございます。こちらのほう勝浦町日赤奉仕団活動費補助金5万円と被災者見舞金，坂本の火災が1件ございましたので，そちらのほうに13万円の歳出をいたしております。

続きまして，13ページのほうでございます。

4 款衛生費， 1 項保健衛生費， 4 目環境総務費でございます。こちらのほう事業といたしまして狂犬病予防事務また環境保全の2つがございます。まず，狂犬病予防事務といたしまして24万4,524円の決算額でございます。特定財源といたしまして県支出金8万7,400円でございます。こちらのほうは狂犬病予防注射済み票交付手数料12万7,050円及び動物愛護管理適正化推進補助金2万5,000円の合計でございます。また，その他の歳入といたしまして犬の登録手数料5万4,000円，それと濟いませぬ，先ほどの間違えました，注射の交付手数料のほうはその他の財源でございます。こちらのほう合計18万1,050円ございますが，差し引き15万7,124円を財源充当させていただいております。主なものといたしまして犬登録及び狂犬病予防対策事業でございます。

す。犬の登録件数は316匹，うち28年度新規登録18件でございます。予防注射実施件数といたしまして231件でございます。実施回数は4回でございます。また，犬登録原簿等一括管理等委託料12万9,000円をサンシステムエンジニアリングに支出いたしております。

続きまして，環境保全費，決算額82万2,838円でございます。こちらのほう特定財源といたしまして県支出金，特定施設設置届け出受理事務委託金3万8,100円，また汚水等排出施設設置届け出受理事務委託金1万3,000円で合計5万1,100円の県支出金を財源充当いたしております。一般財源の支出といたしまして77万1,738円でございます。主な支出といたしましては消耗品，手数料，それから勝浦町環境美化花づくり事業助成金といたしまして61万5,000円の支出をさせていただいております。

続きまして，14ページのほうをお開きください。

4款衛生費，2項清掃費，1目清掃総務費でございます。決算額といたしまして157万529円でございます。財源といたしまして災害廃棄物適正処理推進事業補助金30万円のその他の歳入がございます。差し引き一般財源といたしまして127万529円でございます。勝浦町災害廃棄物処理計画策定業務ということで，計画を昨年度策定させていただいております。こちらの歳出のほうは137万1,600円でございます。また，保健部長会等を開催させていただいております。

続きまして，15ページのほうをお開きください。

4款衛生費，2項清掃費，2目し尿処理費でございます。こちらのほう3,432万4,500円の決算額でございます。いずれも一般財源でございます。小松島市外三町村衛生組合負担金といたしまして3,121万3,000円の支出がございます。年4回に分けてこちらの負担金のほうを支出をさせていただいております。また，し尿処理負担金といたしまして311万1,500円でございます。し尿搬入量につきましては，合計といたしまして1,866.880キロリットルでございます。失礼いたしました。

続きまして，16ページのほうをお開きください。

4款衛生費，2項清掃費，3目じんあい処理費でございます。こちらのほう決算額といたしまして6,869万439円でございます。特定財源といたしましてその他の収入539万500円，差し引き一般財源6,329万9,939円でございます。こちらのその他の特定財源のほうはごみ袋の販売手数料でございます。主な歳出といたしましてごみ収集袋

購入量479万7,642円, 不燃物処理場の電気料41万5,775円, 不燃物処理業務委託料, 勝浦町シルバー人材センターへの支出が412万677円, またごみ収入運搬業務委託料といたしまして1,365万円, 焼却残渣処理業務委託料, 徳島県環境整備公社への支出でございますが, 334万5,750円, 搬入量といたしまして148.3トンでございます。また, 一般廃棄物処理業務委託料, 小松島市への委託でございますが, 4,085万400円, 1,021.26トンでございます。

続きまして, 4款衛生費, 2項清掃費, 4目廃棄物再生利用等推進費でございます。こちらのほう決算額といたしまして827万560円でございます。その他の特定財源といたしまして170万85円でございます。一般財源といたしまして657万475円でございます。こちらの経費, 勝浦町環境町民会議への支出, 町民会議等の委員さんの謝礼等, また生ごみ処理容器事業費補助金, それから廃棄物資源化交付金, 各行政16地区に60万5,080円でございます。

それから, 18ページのほうをめぐっていただきまして。

歳入の内訳でございますが, ペットボトルリサイクル事業, ペットボトル処理量7,300キロ, 白色トレイ660キロといたしまして再商品化合理化拠出金8,813円, またアルミ缶等の資源化交付金といたしまして1万3,330キロで, 売却収入といたしまして120万8,088円, また資源ごみの処理といたしまして1,173キロ, これの売却収入が10万7,784円, 合計が132万4,685円に, 粗大ごみの回収費用34万6,400円及びリサイクル家電の運搬料2万9,000円を合計したものがその他の特定財源となっております。また, 廃食油収集量といたしまして348キロ。主な支出といたしましては金属くず運搬処理業務委託料10.07トン, 92万7,936円, リサイクル家電運搬委託料6万4,800円, アルミ缶, スチール等の運搬業務委託料が7万5,600円, いずれも旭金属への支出でございます。また, 不燃物運搬処理業務委託料, 瓶類の運搬処理業務委託料といたしまして徳島資源リサイクルセンター120万円の歳出がございます。その他といたしまして, リサイクルプラザ作業委託料42万5,446円, 廃プラスチック類再生処理業務委託料109万1,254円, 処理量26.59トン, また使用済み乾電池処理委託料40万3,660円, こちらのほう処理量5,120キログラムでございます。また, リサイクルプラザ建物賃借料といたしまして116万6,400円の歳出がございます。

続きまして, 19ページのほうをお開きください。

4款衛生費，2項清掃費，5目合併浄化槽推進費でございます。こちらのほう決算額といたしまして638万3,000円の支出でございます。国庫支出金といたしまして195万7,000円，循環型社会形成推進交付金でございます。また，県支出金といたしまして173万6,000円，浄化槽推進事業費補助金でございます。一般財源といたしまして差し引き269万円でございます。別紙のほうをおめくりください。20ページでございます。主な支出といたしましては浄化槽の補助金でございます。5人槽が3基，7人槽が8基，10人槽が1基，合計12基でございます。また，撤去費といたしまして，単独槽7基，くみ取り槽3基，合計10基ございました。そちらのほうの歳出が638万円でございます。

続きまして，21ページのほうをおめくりください。

5款農林水産業費，1項農業費，14目農業集落排水事業費でございます。決算額といたしまして2,283万4,000円でございます。特定財源といたしまして80万3,000円，こちらのほう農業集落排水事業県補助金でございます。一般財源といたしまして2,203万1,000円でございます。歳出といたしましては農業集落排水事業特別会計への繰出金でございます。繰出金の内訳といたしましては公債費元金1,029万2,215円，公債費利子といたしまして420万7,560円，施設管理費等といたしまして833万4,225円でございます。合計2,283万4,000円でございます。

続きまして，22ページ目おめくりください。

7款土木費，4項住宅費，1目公営住宅費でございます。こちらのほう決算額471万7,580円でございます。財源内訳といたしまして現年度住宅使用料1,249万8,000円，過年度分住宅使用料75万円，公会堂使用料1万3,000円，またし尿処理費施設維持費現年度分165万4,300円，し尿処理費過年度分11万4,900円，合計1,503万200円の歳入がございます。このうち443万200円，その他の財源として財源充当をさせていただいております。1,060万円につきましては繰越明許の財源となっております。一般財源といたしまして28万7,380円でございます。主な歳出といたしまして住宅等の修理代でございますが，162万4,462円，電気代36万2,067円，浄化槽法定検査14万1,000円，玉の木・五十田公会堂維持管理費48万円，五十田改良住宅2号室壁面工事143万3,322円でございます。また，翌年度繰越事業といたしまして，中角住宅改修工事1,000万円，設計監理委託料60万円等を繰り越してございます。

一般会計については以上でございます。

続きまして、住宅新築資金特別会計についてご説明をさせていただきます。

こちらのほうは資料のほうではなく、説明書のほうで歳入歳出ご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、歳入のほうでございますが、2分の1ページのほうをおめくりください。

説明のところのみ名称を読み上げてご説明を申し上げます。

1款1項1目1節1一般会計繰入金でございますが、こちらのほうは28年度におきましては繰入金はございません。

続きまして、2款1項1目1節1前年度繰越金でございます。こちらのほう29万698円でございます。

続きまして、3款1項1目2節1滞納繰越分貸付金元利収入でございますが、12万円でございます。不納欠損が994万8,431円ということで、収入未済額4,160万9,043円でございます。こちらのほう資料のほうで後ほどご説明を申し上げます。

続きまして、2分の2ページでございます。

4款1項1目1節1住宅新築資金貸付助成事業県補助金でございます。こちらのほう17万7,000円でございます。

続きまして、歳出のほうでございます。

2分の1ページをおめくりください。

こちらのほう主な歳出といたしましては事務委託料でございます。25万5,977円でございます。こちらのほうの4分の3を県補助金で県のほうからいただいております。弁護士等の費用でございます。

説明書のほうは以上でございますが、説明資料のほうをおめくりください。

こちらのほうで28年度中減少額といたしまして1,006万8,431円でございます。残りが4,160万9,043円、11人、15資金でございます。新築家屋といたしまして3,004万3,311円、宅地といたしまして1,156万5,732円、合計4,160万9,043円でございます。

続きまして、農業集落排水事業特別会計につきましてご説明をさせていただきますまん。

資料のほうでご説明をさせていただきたいと思っております。

1枚目おめくりください。

1 款 1 項 1 目農業集落排水事業施設管理費でございます。決算額といたしまして 1,719万7,022円、こちらのほう一般会計の繰入金といたしまして833万4,225円、使用料加入金といたしまして817万4,774円、繰越金387万1,778円、合計2,038万777円を財源充当いたしております。歳入歳出差し引きといたしまして318万3,755円でございますが、このうち繰越明許がございますので、243万9,000円を財源充当させていただいております。実質収支額といたしまして74万4,755円でございます。

また、2 款 1 項 1 目公債費元金でございますが、決算額といたしまして1,029万2,215円。こちらいずれも一般会計繰入金から財源充当をさせていただいております。償還金元金として財務省四国財務局ほかに支出をいたしております。

また、2 款 1 項 2 目公債費利子でございますが、決算額といたしまして420万7,560円。こちらも一般会計繰入金から財源充当を全てさせていただいております。償還金利子、財務省四国財務局ほかへの支出でございます。

2 ページ目をお開きください。

農業集落排水事業の施設管理費分につきまして詳細を説明させていただきます。

歳入につきましては、先ほど申し上げましたとおり現年度使用料が784万3,574円、また過年度分使用料といたしまして33万1,200円、その他一般会計繰入金、前年度繰越金でございます。滞納戸数といたしまして、現年度使用料につきましては7戸、9万3,140円が未納となっております。こちらのほう9の後にコンマがございますが、間違いでございますので、訂正をお願いいたします。9万3,140円でございます。また、過年度分使用料といたしまして17戸、こちらのほう137万8,940円の未納がございます。歳出といたしまして、時間外勤務手当3,394円でございます。また、消耗品8,635円。光熱水費といたしまして電気料278万6,447円、四国電力でございます。また、水道料金といたしまして14万1,000円。続きまして、通信運搬費といたしまして西日本電信電話、電話代でございますが、2万8,947円。また、27年度に緊急通報装置をつけさせていただいておりますので、そちらの通信料51万4,026円でございます。また、手数料といたしまして汚泥抜き取り237万2,652円。緊急対応といたしまして毎日衛生と三共クリーンへ121万2,508円。口座振替手数料3万5,121円。水質法定検査5,400円。その他2万円でございます。

3 ページ目をお開きください。

設計監理委託料でございます。こちらのほう横瀬宅地造成分の設計監理業務委託料といたしまして27万円、バランスシート等作成業務委託料35万7,480円、処理場維持管理委託料横瀬地区汚水処理維持管理ということで274万3,200円、またふぐあい緊急対応といたしまして236万1,960円、また汚水処理場施設水質分析業務といたしまして48万600円、飲料水水質検査といたしまして10万8,000円でございます。電柱共架料といたしまして使用料1万2,960円、こちら緊急警報装置の電柱共架料でございます。また、工事費といたしまして横瀬宅地造成分の真空弁汚水ます設置工事といたしまして354万2,400円、また漏水修理工事といたしまして17万2,292円、地域環境資源センター負担金といたしまして2万円の支出でございます。合計1,719万7,022円となっております。

農業集落排水施設の概要でございますが、区域内人口663人に対しまして供用人口462人でございます。供用率69.7%となっております。

農業集落排水事業特別会計については以上でございます。

以上で住民課の歳入歳出決算主要事項説明を、以上でございます。

○議長（筈 公一君） 以上で住民課関連の詳細説明は終了いたしました。

議事の都合により、休憩といたします。

午後2時07分 休憩

午後2分51分 再開

○議長（筈 公一君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

産業交流課関連の詳細説明を求めます。

海川産業交流課長。

○産業交流課長（海川好史君） それでは、産業交流課の決算の詳細説明を始めさせていただきます。

お手元の一般会計歳入歳出決算主要事項説明書と説明資料に基づきましてご説明を始めます。

まず、説明書資料のNo.1から順次始めていきたいと思っております。

2款2項1目企画費についてでございます。これにつきましては、勝浦創生総合戦略に基づく事業の産業交流課分ということでございます。決算額につきましては、4,733万3,370円というところです。重立った金額についてご説明をいたします。委託

料170万720円でございます。これにつきましては活性化センターの用地測量及び利用計画なり改修計画とそれと空き家調査業務の合計額となっております。

続きまして、工事請負費でございますが、活性化センター工事請負費で1,310万円でございます。これにつきましては、工事の前払い金の支出額ということでございます。

続きまして、公有財産購入費、これにつきましては同じく活性化センターの用地購入費でございます。1,780万2,250円となっております。これにつきましては、過疎債が1,780万円が充当されております。

続きまして、負担金補助金でございますが、空き家改修補助金247万3,000円。これは空き家改修の補助金ということで3件が対象になっております。これにつきましては240万円が過疎債が充当されておるというところでございます。続きまして、イベント助成補助金176万1,000円でございますが、これはかつうら元気市補助金でございます。過疎債170万円が同じく充当されております。続きまして、勝浦みかん生産販売促進協議会補助金173万4,000円でございます。これにつきましては、みかん生産販売促進協議会への補助金でございます。同じく170万円の過疎債が充当されております。続きまして、住宅新築補助金、これにつきましては移住支援補助金で新築された方への補助金というところで、件数2件に対して200万円の補助金を交付したというところで、同じく過疎債200万円が充当されております。最後ですけれども、勝浦町地域活性化協会補助金673万円でございます。これにつきましては、とくしま回帰推進支援交付金350万円が充当されております。活性化協会への補助金といったところでございます。

続きまして、2ページのほうへ説明を移らせていただきます。

5款1項1目農業委員会費でございます。

○議長（節 公一君） 課長、5, 1, 1はもうええけん。款項目の数字はもう。

○産業交流課長（海川好史君） 農業委員会運営費につきましては、301万9,599円でございます。重立った支出につきましては、農業委員会報酬193万9,000円とこれは農業委員14名に対する委員報酬といったところでございまして、業務委託料38万5,000円。これにつきましては、農地情報管理システムの委託料といったところでございます。財源といたしましては、農業委員会交付金の120万円と農業者年金事務委



託金として15万円がそれぞれ充当されております。

あと、農業委員会の活動状況につきましては、業務内容のところに活動状況を記載しておりますので、お目通しいただけたらというところでございます。

続きまして、No.3でございます。

農業総務費です。農業総務費として51万6,723円でございます。続きまして、人・農地プラン整備事業、決算額として925万1,140円でございます。重立ったところでは補助金で900万円の支出がございます。これにつきましては、青年就農給付金というところで7名分の支出といったところでございます。財源といたしましては900万円の新規就農総合支援交付金が充当されておるといったところです。

続きまして、No.4をお開きください。

農業振興費でございます。決算額2,489万470円でございます。重立った支出といたしましては、ブランド化委託費として75万600円、いきいきファーマーズ補助金として70万円、町単振興補助金として1,898万7,200円と、果樹共済補助として51万4,000円、漁業組合への補助として90万円と、その下でブランド化対策費として196万7,190円、これは統一段ボールに対する助成となっております。

その右側のページにつきましては、町単補助事業の決算内容が表示されております。主に園内道の舗装であるとか整備に対する補助金とか、No.12になりますけれども、鳥獣害対策防止事業でありますとか14番の真ん中にあります貯蔵設備の補修でありますとか害虫捕獲事業ですとかNo.⑦の隔年交互結実とかといったところが利用状況としては多いというところで、JA受け付け分といたしましては13番の①小型動力運搬機、②の単軌条運搬機、④のセイロ昇降・リフター、14では苗木購入補助といったところが活用されておったという実績でございます。

続きまして、No.5でございますが、水田利用対策費でございます。決算額といたしまして64万3,395円でございます。この決算額の中で重立った支出といたしましては農業再生協議会への補助金49万円が重立った支出となっております。この事業につきましては、国からの直接農家へ支払いが行われておるために、町の会計といたしましては重立った再生協議会で確認事務等を行っておるといったような事業でございます。財源といたしましては、経営所得安定対策推進事業交付金として49万円、また徳島米政策推進事業費として8万1,000円が充当されておるといったところでござい

す。国からの直接支払いの中で米の直接支払交付金として約151農家に241万9,500円が交付されておるといったところでございます。金額、面積換算いたしますと約32ヘクタールで、対象面積としては約50ヘクタールぐらいが対象になっておるといったようなところがございます。

続きまして、No.6でございます。

畜産業費でございます。決算額といたしましては1万円というところで、県畜産協会の負担金に支出しておるといったところがございます。財源、収入といたしまして畜産団地使用料といたしまして430万1,000円が入っておるといったところがございます。

No.7のほうへ参ります。

日本型直接支払事業として決算額5,798万4,232円でございます。この事業については、対象面積に対して交付金が支払われておるといった事業内容となっております。重立った支出につきましては臨時雇用賃金として142万1,300円、また委託料として152万2,800円、これにつきましては中山間支払い、多面的支払い等のシステム整備や現地確認経費といったところがございます。補助金交付金といたしまして5,430万5,051円、これが直接集落協定や活動組織へ交付された金額の合計額といったところになります。

右のページを見ていただきますと、中山間直接支払制度につきましてはそのうち4,290万3,749円が中山間直接支払事業です。対象面積につきましては、約282ヘクタールが対象になっておるというところで、22集落協定の539戸が協定に参加しておるといった内容となっております。

次のページをお願いします。

次のページには多面的支払事業の詳細を書いております。大井堰地域資源保全会から山西掛資源保存会までといったところで、合計金額といたしまして2,048万6,924円が交付されております。この多面的支払交付金事業につきましては、対象面積が約338ヘクタール余りといったところがございます。

最後に、一番下にありますけれども、環境保全型農業交付金事業といったところで、これにつきましては坂本有機組合のみでございまして、約1.2ヘクタールに対して9万6,000円が交付されたといったところですよ。

ちょっとページ戻っていただきまして、財源につきましては中山間直接支払い、多面的支払い、環境保全型支払いを3つ合わせまして、合計4,190万3,749円が充当されておるといったところでございます。それと、中山間ふるさと・水と土基金繰入金100万円が充当されております。

続きまして、No.8をお願いします。

土地改良事業推進費でございます。決算額といたしまして6,082万6,301円。土地改良区への補助金はこのうち4,006万1,880円というふうになっております。この内訳といたしましては、運営補助といたしまして右の事業内容のところに書いてございますが、1,583万1,000円といったところと量水器の交換が寺谷と行示地区でそれぞれ残額において執行をされたというところでございます。そのほか、県負担金として2,076万4,421円、これにつきましては県が事業主体となって基幹水利ストックマネジメント事業を実施していただいております、その町の負担分といったところで、財源としては2,070万円の過疎債が充当されておるといったところでございます。ちなみに、ストックマネジメント事業につきましては、緊急斜断面工事として立川で実施されております。

続いて、No.9、婦人の家運営費でございます。決算額として329万1,700円。主な支出としては指定管理料金310万円が社会福祉協議会のほうに委託をしております。財源として使用料でございますが、76万9,145円が使用料として財源になっております。

続きまして、No.10のほうをお願いします。

改善センター運営費でございます。決算額は888万1,980円でございます。重立った支出につきましては、施設管理委託料というところで、K-F r i e n d sさんのほうに793万6,000円で委託をしておるといったところなんです。これについては、センター使用料として63万1,030円の使用料が財源となっております。

続いて、No.11でございます。

農業センター費でございます。決算額として75万6,300円。主な支出としては需用費として光熱水費で39万8,428円といったところと用地借り上げ料で28万5,000円といったところでございます。

続きまして、No.12、林業総務費でございます。決算額として1,048万3,959円という

ところで、鳥獣対策事業費といたしましては決算額1,037万9,709円でございます、その中で重立った支出といたしましては報償費として1,000万円を支出いたしております。また、財源といたしましては県から個体数調整許可や鳥獣捕獲許可、鳥獣の飼養登録等に対して交付金や委託金として合計金額67万6,100円が充当されております。

続いて、林業総務費負担金につきましては10万4,250円といったところで、内容につきましてはそれぞれの協議会等に負担金を支出しておるといった内容でございます。

続きまして、No.13です。

林業振興費でございます。決算額としては496万5,680円となっております。そのうち林業振興費で重立った支出につきましては業務委託料150万円でございます。これにつきましては、徳島中央森林組合へ森林経営計画の認定なり森林整備計画の作成を委託しております。

続きまして、森林整備地域活動支援交付金事業で、決算額といたしまして306万8,700円でございます。この事業の中では業務委託料といたしまして229万5,000円。これにつきましては、境界明確化事業といたしまして立川地区で実施をいたしております。財源といたしましては全額が森林整備境界明確化補助金が充当されておるといったところでございます。その下で、森林整備活動支援交付金77万3,000円でございますが、これは間伐の調査をこの補助金を使うて実施をしておるといったところでございます。それぞれ徳島中央森林組合に委託なり交付されておるといったところでございます。ちなみに、支援交付金につきましては、58万275円が支援交付金として充当されております。

続きまして、No.14のほうへ行きます。

商工振興費でございます。決算額として964万3,727円でございます。重立った支出といたしましては、臨時賃金というところで86万6,087円と商工会への補助金として776万8,558円という支出がございます。この補助金につきましては、右に事業内容として示しておりますが、商工会への運営補助、プレミアム商品券、商工活性化補助なり経営改善利子補給というところでの合計金額といったところとなっております。

続きまして、No.15、観光費でございます。

観光費の決算額としては343万6,513円でございます。まず、観光総務費につきまし

ては122万654円といったところで、重立った支出といたしましては負担金補助金の95万250円でございます。これは徳島東部地域観光市町村連絡協議会負担金の70万円のほか、与川内のホテルまつり、さくら祭りの補助金といったところでございます。

続いて、観光施設管理費の決算額として221万5,859円でございます。重立った支出につきましては、施設維持管理料として144万7,528円でございます。これにつきましては、右に示しておりますとおり公衆トイレ、四国のみち、フライトパーク、前川キャンプ場等の施設管理料といったところでございまして、四国のみちにつきましては管理委託金として49万9,000円が県支出金として充当されております。

続きまして、No.16に参ります。

地域交流推進費といたしまして決算額2,640万5,325円でございます。この科目の中で地域交流推進事業といたしまして決算額979万7,405円の中で重立った支出といたしましては、旅費として200万7,460円というところで、これにつきましてはそのうちのほとんどがリオ五輪への旅費といったところで、右の事業内容に示したとおりでございます。続きまして、工事請負費で130万6,541円といったところにつきましては、これはふれあいの里さかもとの修繕代、修繕工事といった内訳です。続いて、イベント助成金290万円でございますが、これはビッグひな祭り補助金、また坂本グリーンツーリズム支援補助金といった内容でございます。その下に暮らし体験交流事業補助金として150万円、これにつきましては坂本家での移住支援交流促進事業補助金といった内容でございます。この150万円につきましては、過疎債のソフト事業が充当されとるといった内容となっております。

続いて、ふるさと会交流事業でございます。決算額として58万9,060円となっております。旅費なりバスの借り上げ料というふうな形になっております。

続いて、勝浦ネットワーク交流事業23万1,932円でございますが、これについても旅費が重立った支出というふうになっておりまして、かつうら魅力市なり、これ千葉の勝浦ですけれども、那智勝浦町のイベントに出席をしたといった内容でございます。

続いて、右のページNo.16-2でございますが、道の駅事業といたしまして決算額1,578万6,928円でございます。重立った支出につきましては、賃金で424万310円、これは協力隊2名分といったところでございます。その他の需用費220万6,140円、これにつきましては光熱水費といったところですか。あと、委託料で752万5,548円ござい

ますが、これについては右にも書いておりますとおり指定管理料なり消防設備点検なり浄化槽の清掃なり点検の委託料といった合計額となっております。これ、道の駅事業につきましては、ちょっと左のページの事業内容の一番上にも記載しておりますが、道の駅管理委託料として県から210万円が委託料として交付され、それが財源となっております。

以上で一般会計28年度分の詳細説明を終わります。

続きまして、繰越明許費のほうの説明を始めさせていただきます。

1 ページ目をお開きください。

観光費についてでございますが、観光施設管理費といたしまして四国の道の鶴林寺公衆トイレの改築工事を実施してございましたものが27年度末から28年度に繰り越しして工事を完成したといった内容でございます。まず、13節の委託料につきましては、合計額を申し上げます。1,210万200円といった決算額でございます。そのうち委託料が154万4,400円で、これは設計監理委託料でございます。続きまして、工事請負費1,055万5,800円につきましては、工事費の28年度払いという金額の支出でございます。財源といたしましては、自然環境整備交付金544万5,000円と過疎債の657万円がそれぞれ充当されております。

以上で繰越明許の詳細説明を終わらせていただきます。

続きまして、物産販売特別会計について詳細説明をいたします。

No.1をお開きください。

物産販売費の決算額でございますが、973万9,877円でございます。主な支出でございますが、需用費として514万7,071円。これにつきましては商品の仕入れ費が右に書いてありますが、481万3,135円といったところとその他の需用費が33万3,936円の合計額となっております。そのほか委託料で98万円を支出しておりますが、これにつきましてはレジシステム等に関する指定管理料といったところでございます。最後に、繰出金といたしまして300万円を一般会計に繰り出した決算内容となっております。これにつきましては、主な財源といたしますか、右上の事業内容のところに書いてございますが、主な財源として販売手数料として73万6,175円、収益事業収入として735万1,101円、28年度精算金として5万9,000円、前年度繰越金として917万4,645円というところで、合計1,732万921円が財源となっておりますといった内容でございます。

います。

以上で詳細説明を終わらせていただきます。

○議長（笹 公一君） 以上で産業交流課関連の詳細説明は終了いたしました。

議事の都合により、休憩といたしますが、休憩中に質疑を行いたいと思います。

午後 3 時 21 分 休憩

午後 4 時 17 分 再開

○議長（笹 公一君） 再開いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

本日はこれにて散会いたしたいと思います。

お疲れさんでした。

午後 4 時 17 分 散会